

『割れない』 不燃認定シート製防煙垂壁《テンションタイプ》

SOS - TTR 施工要領書

(シャット・オフ・スモーク - テンションタイプ)

【 天井付け・改修用 】

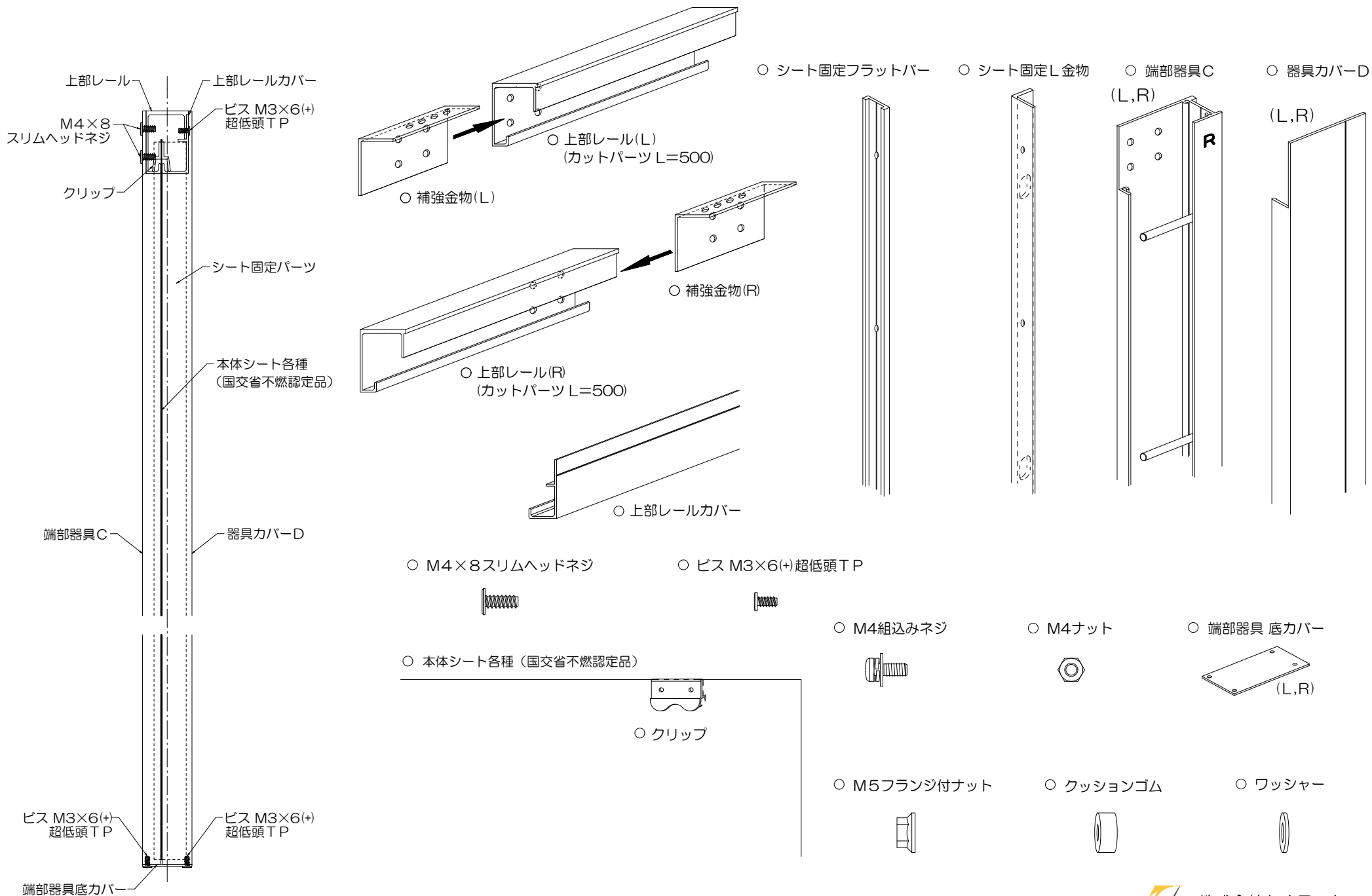
防煙垂壁
bouen-tarekabe.net



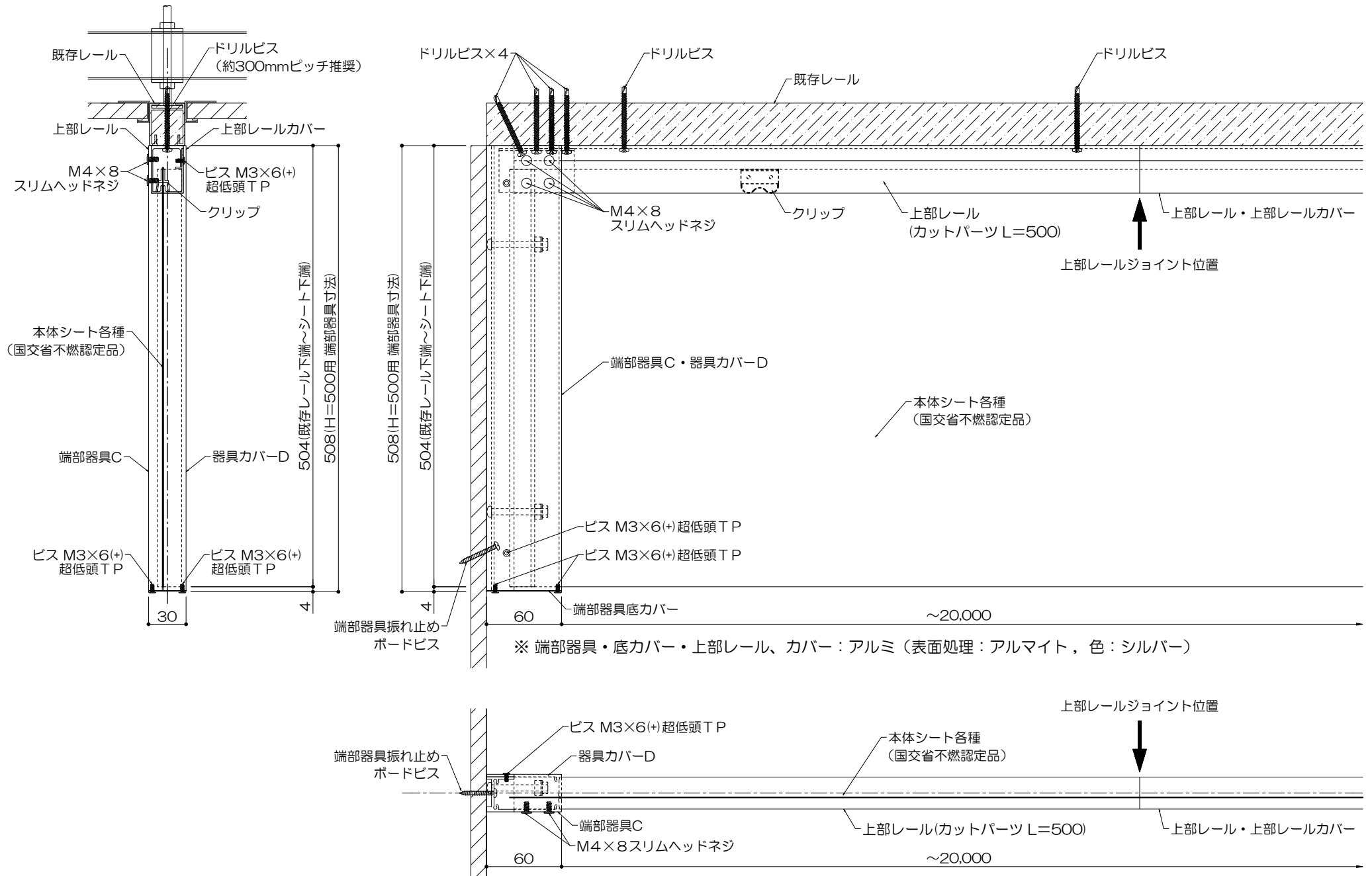
株式会社 タナテック

Ver. 4

SOS-TTR【天井付け・改修用】パーツ 一覧



SOS-TTR【天井付け・改修用】製品図



◎施工前に準備する工具・資材・金物等

| 工具・資材・金物等 | 詳細 | 用途 | 確認 |
|---------------------------------------|---|---|----|
| 養生シート・養生テープ | ブルーシート ポリシート マスキングテープ | 床養生 商品養生 | |
| 足場材 (元請けより貸与頂けない場合) | 5m以上のスパンは柱・壁際および中間位置の計3か所の配置が必要 立ち馬(伸び馬)、ライトベース、脚立+歩み板、アップスター、 ローリング足場、高所作業車等・・・天高によって使い分けてください | 器具、上部レール取り付け 他 | |
| インパクトドライバー プラスドライバー | プラスビット(L=65mm、L=110mm No2 および No1) No2 および No1 | テンション器具の取り付け、上部レールの取り付け他 各部の下穴用 吊り下げクリップ締結用 | |
| 六角レンチ、ラチェットレンチ | 8mm (M5用) | シートにテンションをかけるナットの締め付け | |
| 卓上マルノコ | アルミ用チップソー | 上部レール・上部レールカバーのカット他 | |
| 軽天ビス M3.5~M3.8 | 軽天ビス M3.5×32 M3.5×51 | 器具のタチ矯正用 | |
| ドリルビス M4(ナベ頭) (商品名:テクス・ピラス) | ドリルビス M4×35 M4×45 既存垂れ壁レール形状により使い分けてください | テンション器具ユニット取り付け 上部レールの取り付け | |
| レーザー距離測定器 墨出しレーザー・水系・墨壺・水準器 巻き尺 | 20m以上 20m以上 | 柱間の距離測定 上部レールの取り付け、テンション器具の取り付け シートカットの長さ測定 | |
| 曲尺・下敷き 磁石 | 曲尺:500mm以上 強力 ネオジム磁石 | シートカットに使用 天井・壁・柱の軽鉄下地探しに使用 | |
| キリ | Φ5mm Φ2.5mm | 上部レール取り付け用下穴 器具カバー、上部レール側面カバー取り付け用下穴 | |

その他・・・

イレギュラーの状況に対応するために準備するもの

| | | | |
|----------|---------------|--|--|
| シールガン | | | |
| シール | クリアーまたはライトグレー | | |
| マスキングテープ | | | |
| ボンドコーク | ホワイト、ライトグレー | | |
| ボードアンカー | 10mm用他 | | |



◎SOS-TTR 取り付け手順・要領 - 1

| 手順図 | 要領 | 使用工具・測定具・他 | 梱包材 |
|---------------------------------------|---|--|-----------------------------|
| ①-1 端部器具ユニットの組立て | 端部器具、補強金具、上部レールカットパーツ、底カバーには右 (R) 用・左 (L) 用の2種が同梱されています パーツ一覧、製品図のように左右の器具ユニットを同梱のスリムヘッドネジで組み立て補強金具の上部4つの穴及びレールの器具側、先端部に4mmのキリで下穴計6穴を上部レールカットパーツにあけておきます | インパクトドライバー キリ(Φ4mm) | M4×8スリムヘッドネジ |
| ①-2 端部器具C (L・R) の底カバーの取り付け | 左右端部器具の底に左右の底カバーを付属のM3×6のタッピングビスにて3か所取り付けます | +ビットNo1 | M3×6ネジ |
| ①-3 天井への端部器具ユニットの取り付け | 左右の端部器具のマーキング (R・L 等) してある方を上にして、図面指示の垂れ壁芯又は既存のガラス垂れ壁レール芯に上部レール芯 (V溝が芯) を合わせて補強金具下穴 (4穴) 及び上部レールカットパーツの器具側 (1穴)、先端部 (1穴) をビスにて取り付けます 水準器で垂直 (タチ) を確認してから端部器具のタチが動かないように器具の下穴に沿って柱・壁面に軽天ビスを打ってください 柱・壁の天井際に廻り縁やフクビ等があれば32mm程度カットしてください | Mバーは軽天ビス 既存ガラス垂れ壁レール、補強材、鉄板等はドリルビス 水準器 下地探し強力磁石 カッターナイフ 電動マルチカッター | ビスは同梱されていません |
| ポイント | 壁・柱面の取付下地 (スタッド・補強材等) が無くてもテンションをかけたときに器具を浮き難くするために、器具と上部レールカットパーツは組み立てると92度程度の角度がついています | | |
| ② 天井への上部レールの取り付け 上部レール：L=3000mm | 上部レールカットパーツと上部レールの小口を合わせて、300mmピッチ程度で天井の既存防煙垂れ壁レールにドリルビスにて取り付けください ビスの取り付けスタートおよびエンドは上部レールの端から30mm程度です 事前に上部レールに5mm程度の下穴をあけておくと目違い、スキマ、蛇行が少なく、きれいに上部レールを取り付けることができます | インパクトドライバー 丸のこ レーザーまたは チョークライン キリ (Φ5mm) 下地探し強力磁石 | ビス・ねじは同梱されていません 上部レールは同梱 |
| ポイント | 極力蛇行させない スキマ、目違いができないように取り付ける | | |
| ③ シートのカット | 清掃した床の上に養生材 (ブルーシート等) を敷き、その上にロール状のシートを広げる 柱 (壁) 間の距離を測定し、その距離 - (マイナス) 35mmで巻き尺にて2辺寸法を測定し、下敷きを敷いて曲尺を当てて正確にカッターナイフでシートをカットする シートの使い始めは直角が出ていないので、曲尺を当てて30mm程度捨て切りし直角を出してからシートを使用してください | 下敷き カッターナイフ 曲尺 巻き尺 レーザー距離計 | |
| ポイント | 最初にシートの直角を出す 内間 (柱間、柱・壁間) - 35mmでカット | | |
| ④-1 シートの養生フィルムのカット | 広げたシートの上下の小口できれいにカットしてある方を下 (見える方)、汚い方を上 (隠れる方) として上方シートの両面に貼りついている養生フィルムを両面とも幅50mm程度剥がし、両端上部の角 (出隅) 部を1辺30mm程度の2等辺三角形でハサミまたはカッターで切断しておく | マスキングテープ | シート固定フラットバー |
| ④-2 シートへのフラットバーの固定 | シートの固定用フラットバー (両面テープが貼ってある) を養生フィルムを剥がしたシートの下端に合わせシートを貼り付ける ネジが通りやすいようにプラスビット等先端のとがった物でシートに穴をあける | | M4組み込みネジ、ナット |
| ④-3 シートへのL金物の固定 | 固定用L金物で張り付けたシートを挟み、付属のM4の小ネジとナットで締め付けて固定する やわらかいシートの場合はインパクトドライバー等で締め付けすぎるとシートにシワが発生するのでプラスドライバーで最後は手締めしてください L金物の取り付け向きを間違わない | | シート固定L金物 |
| ポイント | シート養生フィルムはカッター等で端に切れ目を入れてから手ではがしていきましょう フラットバーとシートの貼り付け時に発生したシワはテンションをかけてもなくなりません | | |

* 上記手順の番号は取り付け手順・要領図の振り番号を参照願います

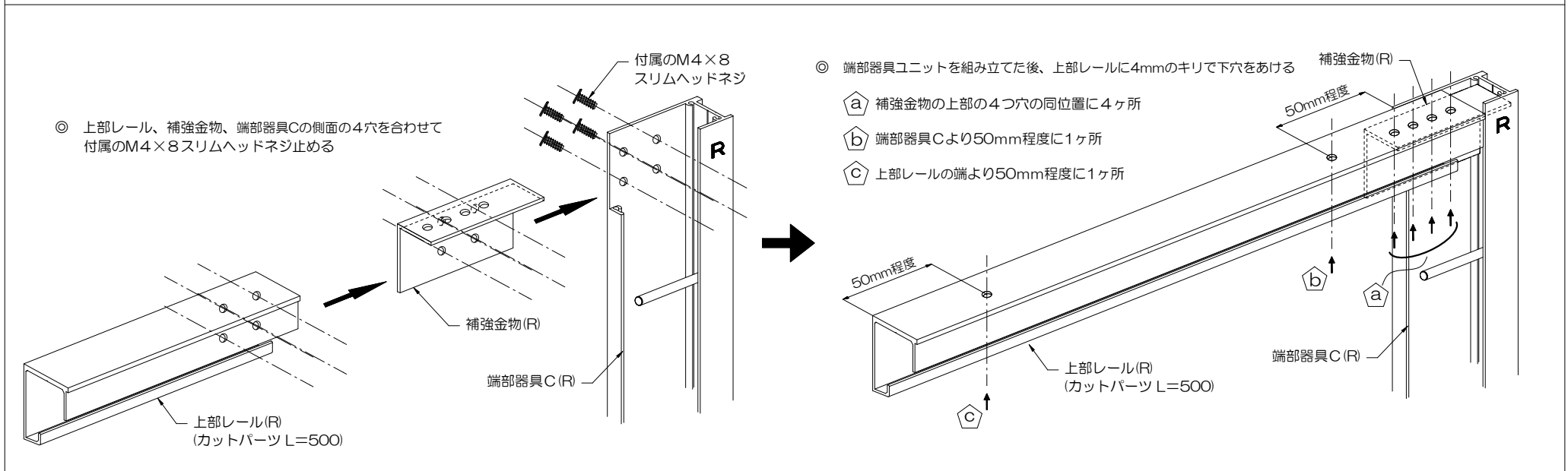
◎SOS-TTR 取り付け手順・要領 -2

| 手順図 | 要領 | 使用工具・測定具・他 | 梱包材 |
|------|--|------------------------|----------------------------|
| ⑤ | 吊り下げクリップの取り付け | ハサミ プラスドライバー | 吊り下げクリップ M3×6 タッピングビス |
| ポイント | あまり細かく吊り下げクリップを取り付けけない シートの下にダンボール等の下敷きを敷くと床を傷付けずにスムーズに取り付けできます | | |
| ⑥-1 | シートの取り付け | ラチェット | |
| ⑥-2 | シートの取り付け | | ワッシャー クッションゴム M5 ナット |
| ⑥-3 | 上部レールカバーの取り付け | ビット (No1) キリ (2.5Φ) | M3×6のタッピングビス |
| ポイント | 上部レールカバーを取り付けてからシートの張り具合の調整 極端にクリップが突っ張ったり、シートにシワが出る箇所はクリップを外してください 逆にクリップが掛かっていなくてもシワの原因になります | | |
| ⑦-1 | シートの張り具合の調整 | 六角レンチまたは ラチェット六角レンチ | |
| ⑦-2 | 器具カバーDの取り付け 器具底カバーの取り付け | ビット (No1) キリ (2.5Φ) | M3×6のタッピングビス |
| ポイント | M5のナットはシート固定金物を手で押し込んで回し、最後にラチェット六角レンチ等で回す クリップがかかっている状態でシートを両手で挟んで上下に動かすとクリップがかかりやす シートがレール側面カバーに接触してシワになる場合はヘラ等でこじてスキマをあけてシートが接触しないようにしてください | | |
| ⑧ | 養生フィルム剥がし・自主検査 | | |
| ポイント | 養生フィルムは垂れ壁の真下に入って、斜め下方向にゆっくり引っ張ってはがしてください シートの面外方向には負荷をかけないでください | | |

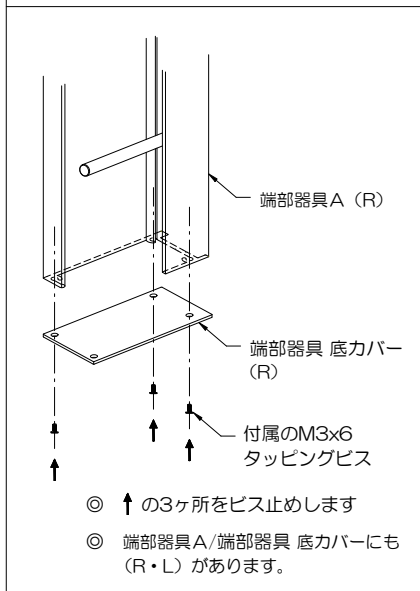
* 上記手順の番号は取り付け手順・要領図の振り番号を参照願います

手順図

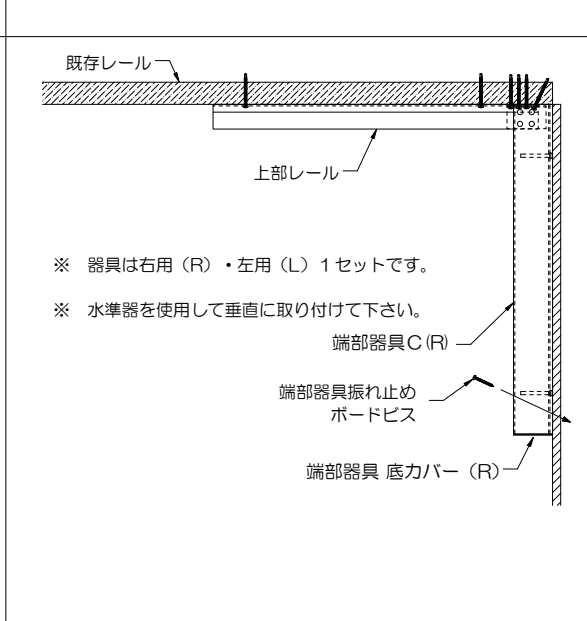
①-1 端部器具ユニットの組立て



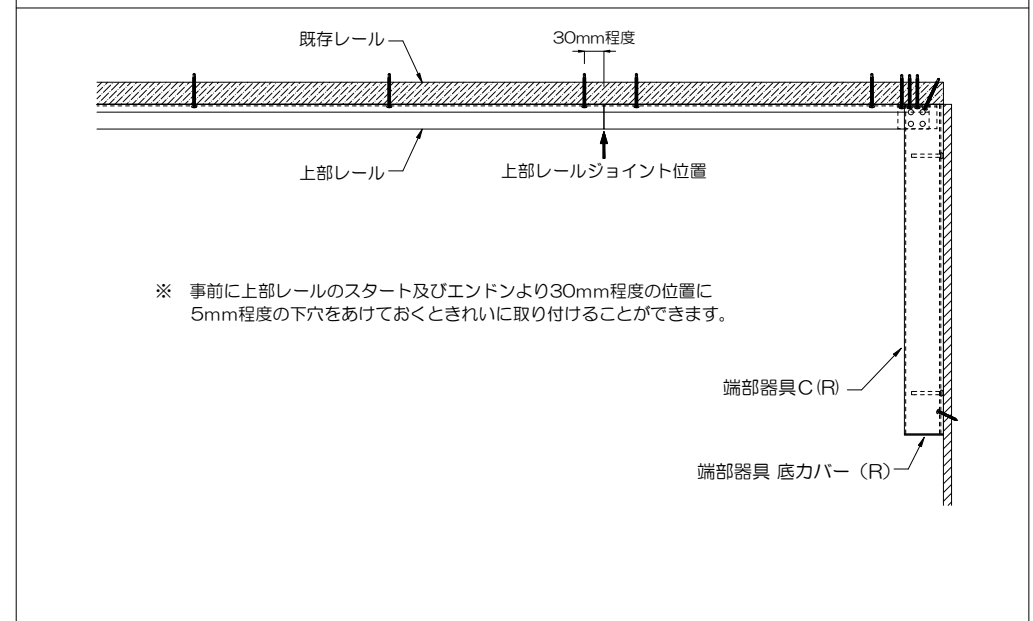
①-2 端部器具A (R・L) の端部器具底カバーの取り付け



①-3 天井への端部器具ユニットの取り付け

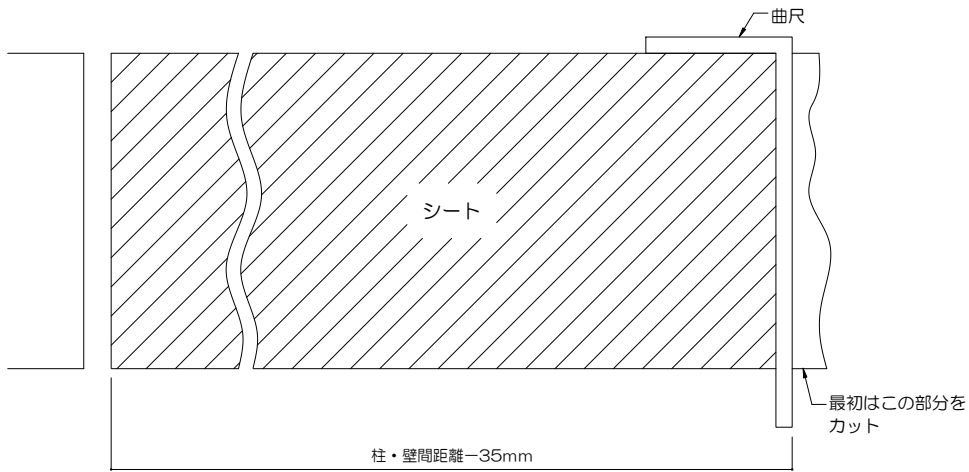


② 天井への上部レールの取り付け



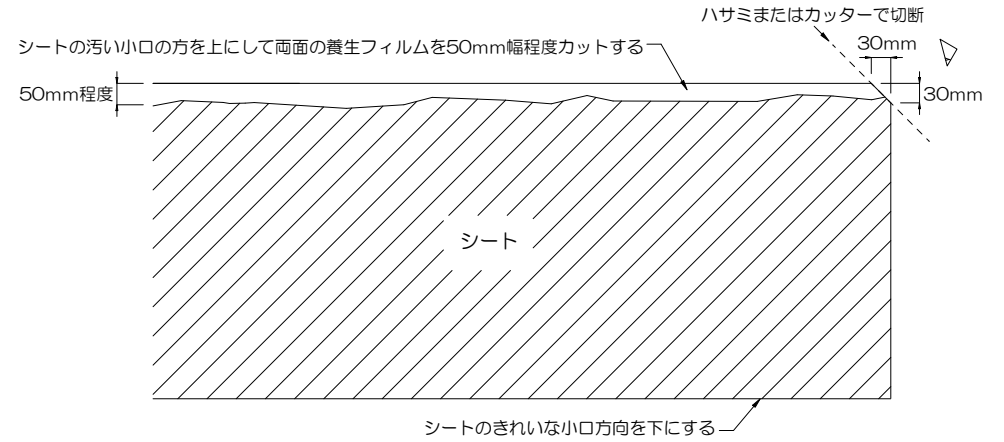
手順図

③ シートのカット

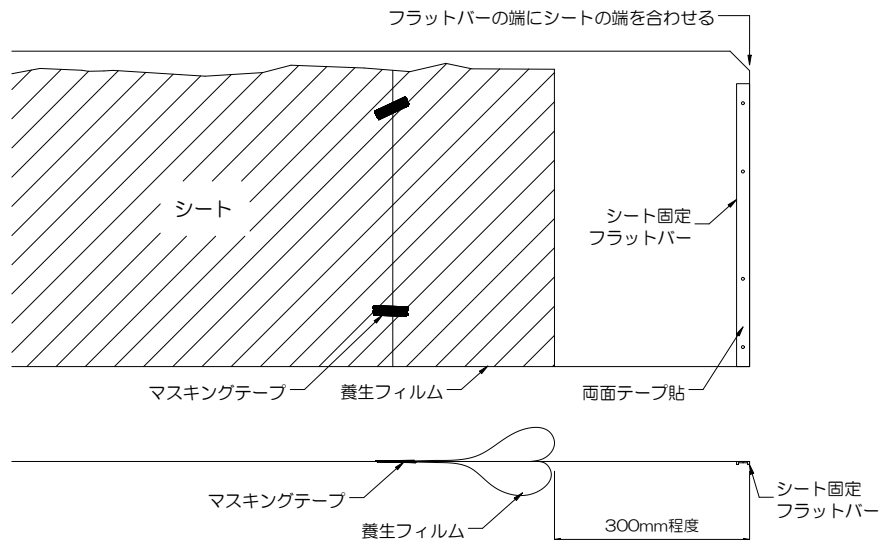


※ 清掃した床にブルーシート等で養生し、下敷きを敷いてカッターナイフでカットして下さい。

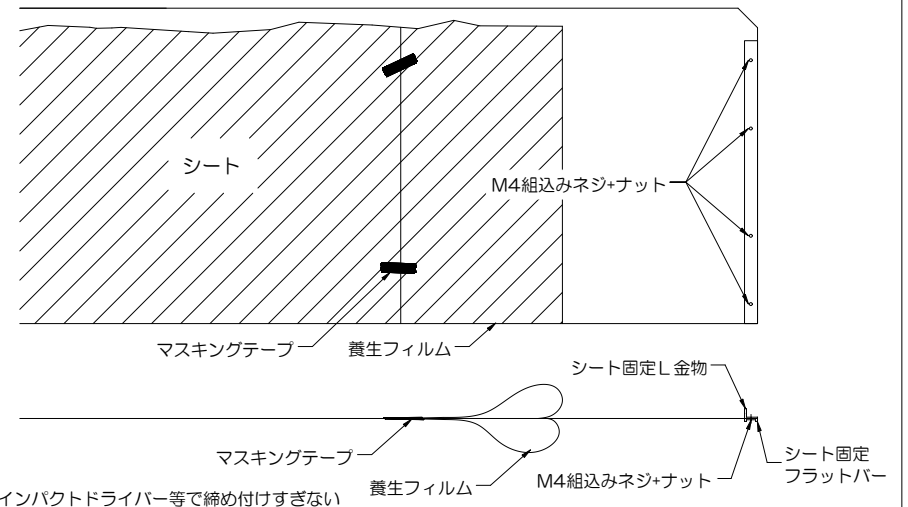
④-1 シートの養生フィルムのカット



④-2 シートへのフラットバーの固定



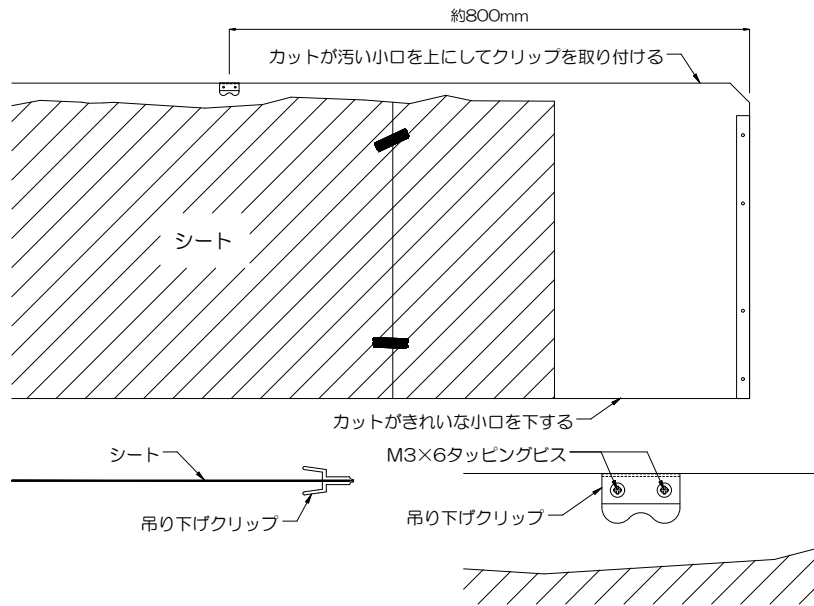
④-3 シートへのL金物の固定



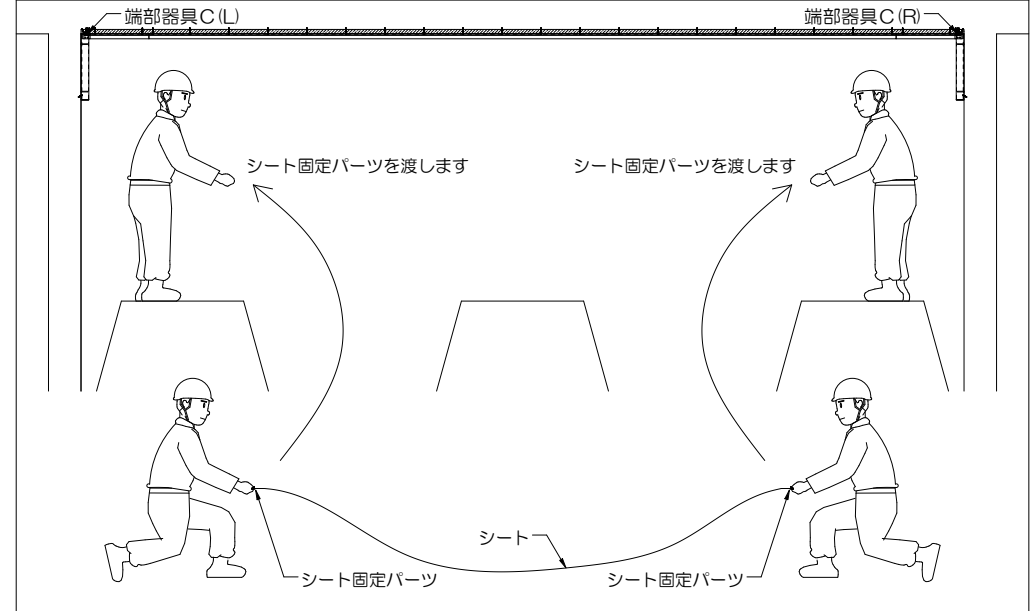
※ インパクトドライバー等で締め付けすぎない

手順図

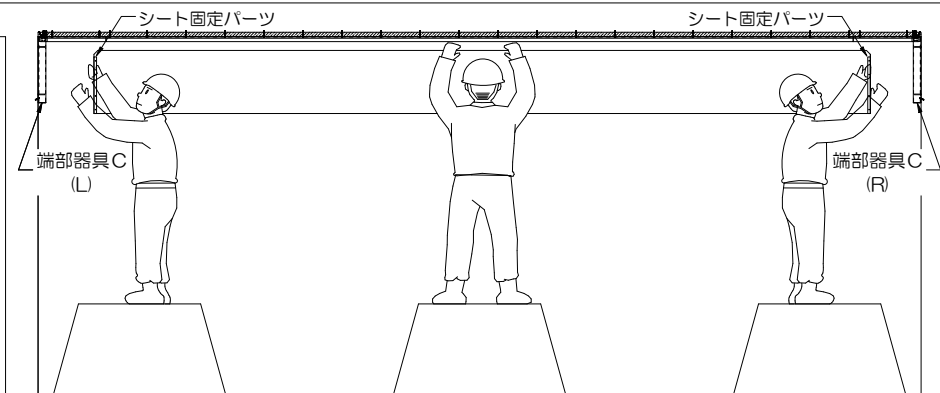
⑤ 吊り下げクリップの取り付け



⑥-1 シートの取り付け

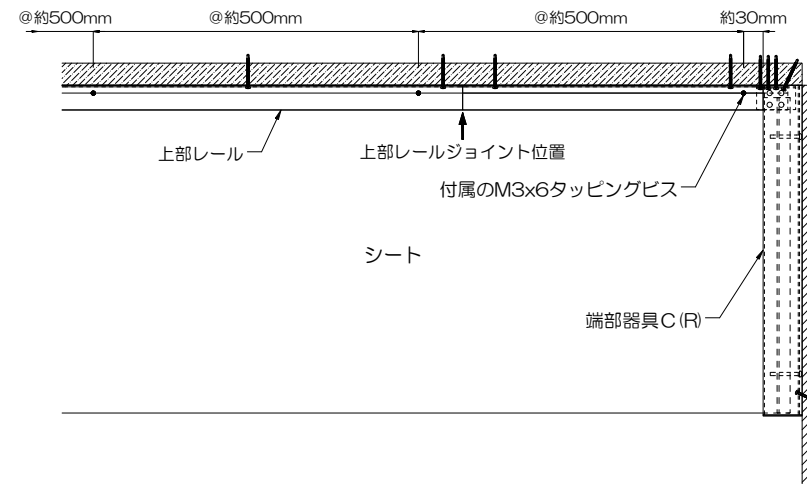


⑥-2 シートの取り付け、クリップの引っ掛け



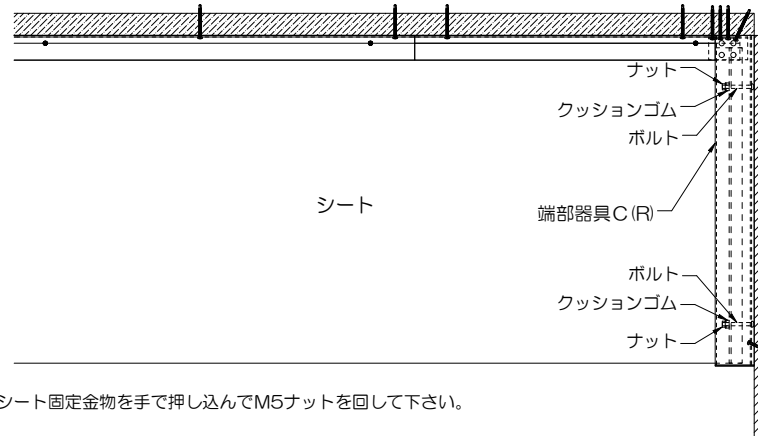
- ※ 3人でタイミングを合わせシートを平から垂直に起こします。
- ※ シートが折れたり、破れたりしない様に中間に1人入ってシートを起こします。
- ※ 端部器具Cのボルトにシート固定L金物の長穴を差し込み ワッシャー、クッションゴムの順に入れて付属のM5ナットで締めます。
- ※ クリップを上部レールに引っ掛けていきます。

⑥-3 上部レールカバーの取り付け



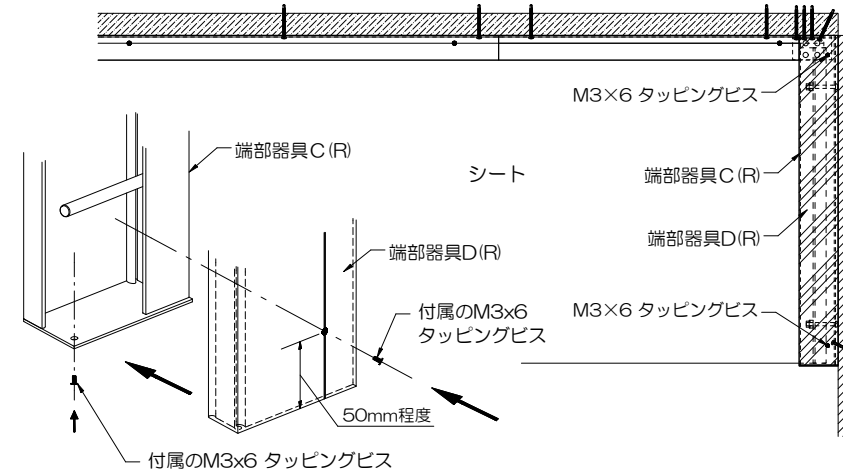
手順図

⑦-1 シートの張り具合の調整



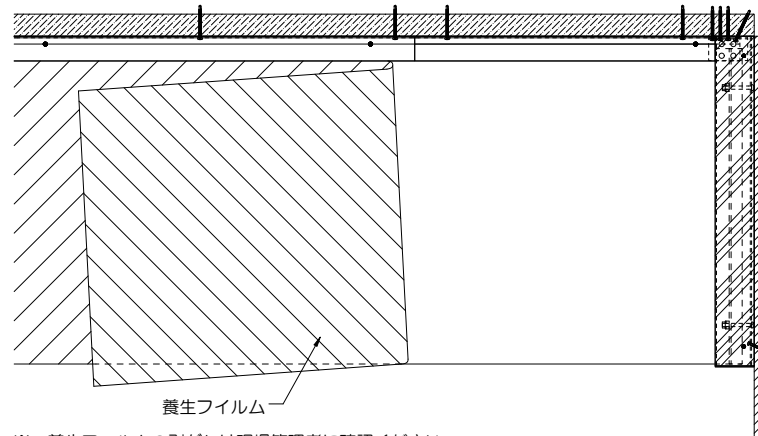
- ※ シート固定金物を手で押し込んでM5ナットを回して下さい。
- ※ ナットを締め込めばシートは張りますが、適度な張り具合で止めて下さい。
- ※ 上下のナットは片方だけを締め込まず、均等に締めて下さい。

⑦-2 器具カバーDの取り付け、端部器具底カバーのビスの取り付け



- ※ 器具カバーDを取付後 ↑ の1ヶ所をビス止めします

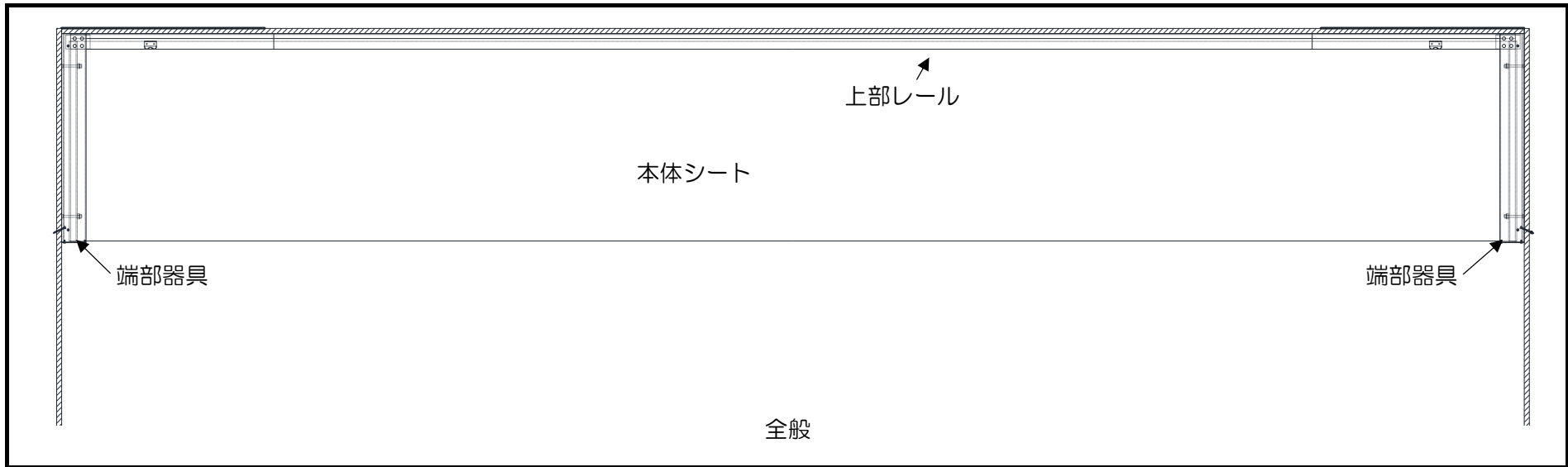
⑧ 養生フィルム剥がし・自主検査



- ※ 養生フィルムの剥がしは現場管理者に確認ください。

自主検査表

検査日： 年 月 日 検査員： _____
 検査日： 年 月 日 検査員： _____
 検査日： 年 月 日 検査員： _____



| ① 全般 | 確認 |
|-------------------------|----|
| 移動させた什器、商品は元の位置に戻している | |
| 施工範囲、加工場の清掃は十分に行っている | |
| 床、商品の養生材の撤去忘れはない | |
| 資材、工具、足場仮設材、空箱等の置き忘れはない | |
| 休憩所はきれいに片づけた | |

| ④ 端部器具 | 確認 |
|----------------------------------|----|
| 軽く揺すっても動かない | |
| 器具は垂直に取り付けられている | |
| 柱面・壁面に汚れ・キズ・塗装剥がれ・クロスの破れ・メクレ等はない | |
| 器具カバーDは上下所定の位置でビス固定されている | |
| 器具底カバーは4本で固定されている | |

| ② 本体シート | 確認 |
|----------------------|----|
| シートの取り付け位置が図面と一致している | |
| シートに汚れ・キズがない | |
| シートにシワがない | |
| 養生フィルムを剥がした | |
| シートの下端部にカール（巻き）がない | |

| ③ 上部レール | 確認 |
|------------------|----|
| 取り付け位置が図面と一致している | |
| 汚れ・キズがない | |
| 目違い・スキマがない | |
| 蛇行が無く、通りが出ている | |